

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

270-778

事務事業名	伊賀良学習交流センター運営事業(伊賀良分館)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
	部等名	教育委員会	課等名	図書館		1	10	5	5	11	1	0	
	政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり				1	10	5	5	10	1	49,204	
	施策	28 学習交流活動の推進				1	10	5	5	10	2	49,800	
実施区分	18終了	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等							
		事業期間	18	年度～	18		年度						

**【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。**

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	伊賀良学習交流センター(図書館を併設)	述べ床面積299.95㎡	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			299.95			
		蔵書冊数(冊)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
			18000			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
あらゆる年齢層の市民が日常的に寄り集まり交流が図れ、併設の図書館機能と併せ、地域コミュニティーの拠点となる施設となるよう整備する。	開館日	18目標	130	最終目標		
		18実績	137	19目標		
		23目標		23実績		
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標		
		23目標		23実績		

**(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。**

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	平成17年に建物 completed した伊賀良学習交流センターは平成18年度からオープンをした。 学習交流センターとしての機能と、図書館としての機能強化とを追求していく。周辺に公共施設が多いので、保育園、小学校、公民館、老人福祉施設などと連携をとりあい、学習交流としての施設活用や図書館利用の促進に努める。	移設後の図書館のPRと利用の促進を図る。学習交流センターとしての機能を盛り込んだ運営方針を策定。展示資料の作成、学校との学習交流などを関係機関と連携をとりながら実施。 19年度から他の地域分館同様に図書館維持管理事業での管理を行っていく。	開館日	137
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金		
	特定財源		
	起債		
	その他		
	一般財源	1,329	
	事業費計(A)	1,329	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 120	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	429	0
	トータルコストA+B	1,758	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

**(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。**

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	学びの機会が得られる	学習活動を行っている市民の割合	現状値	38	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	40
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
平成16年、伊賀良地区自治会より現伊賀良図書分館の機能強化要望として、公民館敷地内への分館単独館の建設要求が出された。 平成17年度に伊賀良学習交流センター整備事業として、施設の建築を行った。	建築計画を地元と協議しながら進める中で、地域住民の新施設へ寄せる思いは大きい。 中央館に準ずるサービス展開を望む声が多く寄せられ、システムの電算化も含め開館日数の拡大を中心としたサービスの充実が要求されている。	設計協議の段階から地元は大変協力的で、整備事業には積極的な意見が寄せられている。学習センターとしての機能要望を聞くためのアンケート調査でも、図書館機能の充実を要望する声が高い状況である。

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	サービスを拡大の方向で19年度検討実施。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	2- 施設などを新設、改造、廃止するとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	環境にやさしく地域木材使用、太陽光発電システム設置、木質バイオマスエネルギー利用拡大のためベレットストーブ導入。		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	